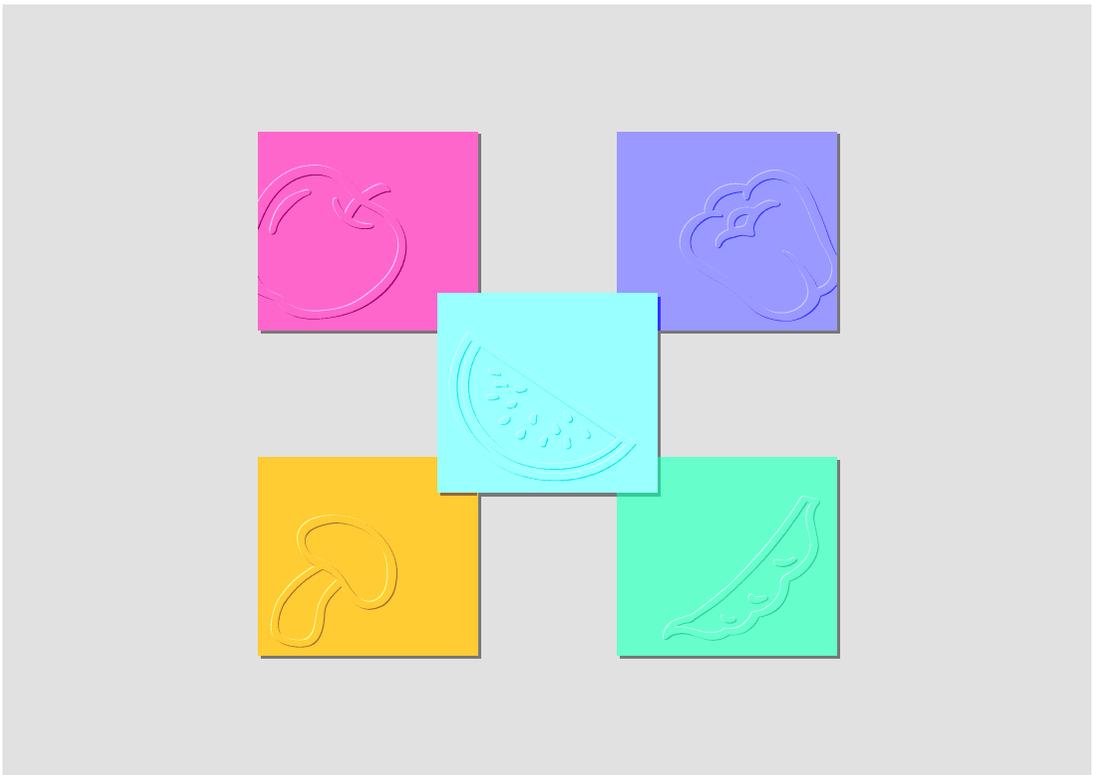


2017年後期
《3年生対象:準備講座》

国語・算数

基礎トレーニング

～確かな学力を育てるために～



3年生対象:準備講座

国語・算数

基礎トレーニング

書く × 読む × 計算 → 確かな力

アクセスでは中学入試が求める「自ら考え、表現する力」を育成するカリキュラムを作成し、日々その指導にあたっています。「考える力」が育つためには、計算力、読解と表現のための漢字と読む力が不可欠。アクセスでは、確かな学力を育てるための準備段階としてオリジナルテキストを用意し独自の国算基礎トレーニングを行います。

「3年生対象:準備講座」実施要項

《 授業期間 》 9月～1月までの全16回

※国語と算数、それぞれが隔週8回の授業です。

《 授業曜日 》

新百合ヶ丘校 火曜日、または水曜日(週1回)

あざみ野校 水曜日、または金曜日(週1回)

※授業曜日は希望で選びいただけます。

《 時間 》 午後4時40分～午後5時40分(60分間)

《 会費の納入方法(教材費を含みます。) 》

①全納の場合 34,560円(税込)

②分納の場合(9月と11月の2回です。) 各 17,280円(税込)

3年生対象準備講座:授業進行表

	火曜日	水曜日	金曜日	科目	内容
1	9月12日	9月13日	9月15日	算数①	たし算①
2	9月19日	9月20日	9月22日	国語①	漢字①、音読「ふるやのもり」
3	9月26日	9月27日	9月29日	算数②	たし算②（和一定）
4	10月3日	10月4日	10月6日	国語②	漢字②、音読「新ちゃんがないた！」
5	10月10日	10月11日	10月13日	算数③	たし算③（仮の計算）
6	10月17日	10月18日	10月20日	国語③	漢字③、音読「ピータイルねこ」
7	10月24日	10月25日	10月27日	算数④	ひき算①（差一定）
8	10月31日	11月1日	11月3日	国語④	漢字④、音読「きつねのまど」
9	11月7日	11月8日	11月10日	算数⑤	ひき算②（過不足）
10	11月14日	11月15日	11月17日	国語⑤	漢字④、音読「注文の多い料理店」
11	11月21日	11月22日	11月24日	算数⑥	ひき算③（数を分解してみよう）
12	11月28日	11月29日	12月1日	国語⑥	漢字⑤、音読「最後の一片」
13	12月5日	12月6日	12月8日	算数⑦	かけ算①（たし算をかけ算に変身）
14	12月12日	12月13日	12月15日	国語⑦	漢字⑥、音読「白」①
15	12月19日	12月20日	12月22日	算数⑧	かけ算②（分配法則）
16	1月9日	1月10日	1月12日	国語⑧	漢字⑦、音読「白」②

※11月3日(金)は祝日授業、9:30~10:30で行います。



国語

漢字

「習った漢字にはこんな意味があったのか！」と発見したり、気づいたりするための学習を行います。漢字は、成り立ちに注目して、意味の多義性をとらえたり、熟語を考えたりする学習が大切です。

授業のはじめに、家庭学習をふりかえるための「書き取り問題」を行います。

毎回、20個の漢字一覧表をお渡しします。そこに熟語ものついていますから漢字の部首や成り立ちから意味をたしかめて、それをふまえた熟語の練習に取り組みます。

次の授業では、漢字一覧表の中から出題する「漢字テスト」を実施します。その後で答え合わせをしながら漢字の成り立ちから覚えるときの注意点などについて解説していきます。

音読

音読には「脳の活性化」など様々な効用があると言われています。しかし、この講座では、もっとも単純なことをねらいとしています。

音読のできない子で国語のできる子はいません。一方、国語のできる子で音読のできない子もいません。したがって、国語の力を育むにはまず音読ができるようになる必要があります。音読が上手にできるということは国語ができるための最低条件の一つです。まずは、この最低条件の一つをクリアしていくことがこの講座のねらいです。

取り上げる課題文は一度は読んでおきたい作品を選んでみました。ストーリーを楽しみながらの音読練習をしていきたいと思えます。

	音読の題材	作者
第1回	「ふるやのもり」	民話
第2回	「新ちゃんがないた！」	佐藤州男
第3回	「ピータイルねこ」	岡田淳
第4回	「きつねのまど」	安房直子
第5回	「注文の多い料理店」	宮沢賢治
第6回	「最後の一葉」	オー・ヘンリー
第7回	「白」①	芥川龍之介
第8回	「白」②	芥川龍之介



算数

計算は算数の基本です。計算問題を小学校で習った「やり方」だけで取り組んでいるだけでは、文章題を解く力には結びつきません。

例を挙げて、ご説明しましょう。

$79+98$ を普通に計算すると、くり上がりがあるのでミスしやすいものです。

そこで、79は80に近く、98は100に近い。ぴったりの数ならば計算しやすいので、まず、その数で計算します。 $80+100=180$ これなら簡単ですね。

でも、 $79+98$ の計算よりも3大きくなってしまいます。そこで、答えから、大きくした分を引きます。

$$79+98=80+100-3=177$$

これで、くりあがりやを気にせずに計算することができます。

「もし、少し数を大きくして計算したら…」と仮定して計算する方法です。この「もし、～だったら」と考える方法は、「和差算」「つるかめ算」などの文章題の考え方のもとになります。

また、問題とはちがう似た数にして計算をする方法は、「分配算」や、「平均算」での「仮平均」などに利用できます。

このような計算方法が身につけば、算数の力を確実に伸ばすことができます。

学 習 内 容	
第1回	たし算①
第2回	たし算② (和一定)
第3回	たし算③ (仮の計算)
第4回	ひき算① (差一定)
第5回	ひき算② (過不足)
第6回	ひき算③ (数を分解してみよう)
第7回	かけ算① (たし算をかけ算に変身)
第8回	かけ算② (分配法則)



(1) 授業のテキストは、「例題」と「練習問題」に分かれています。「例題」で先生の説明を聞いた後、「練習問題」に取り組みます。

(2) ドリルについて

家庭学習用のドリルを用意します。毎日、時間を決めて取り組んでください。

翌週、国語の授業の日にやったドリルを先生に見せてください。先生が、チェックをした上で返却します。

